

諸 報 告

	ページ
第 1 前回幹事会以降の経過報告	
1 会長等出席行事	1
第 2 各部・各委員会等報告	
1 部会の開催とその議題	1
2 幹事会附置委員会の開催とその議題	2
3 機能別委員会の開催とその議題	2
4 分野別委員会の開催とその議題	2
5 課題別委員会の開催とその議題	7
6 若手アカデミーの開催とその議題	7
7 サイエンスカフェの開催	7
8 総合科学技術・イノベーション会議報告	7
9 慶弔	8
10 インパクト・レポート	8

第1. 前回幹事会以降の経過報告

1 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
2月1日(月)	STS forum 朝食会 (ホテル グランドアーク半蔵門)	大西会長
2月3日(水)	外務省「科学技術外交推進会議」第1回会合	花木副会長
2月17日(水)	Gサイエンス学術会議 2016 夕食会 (ホテル グランドアーク半蔵門)	大西会長 花木副会長
2月18日(木)	Gサイエンス学術会議 2016 (三田共用会議所)	大西会長 井野瀬副会長 花木副会長
2月19日(金)	Gサイエンス学術会議 2016 (三田共用会議所)	大西会長 花木副会長
2月22日(月)	重要課題専門調査会 第9回環境ワーキンググループ	大西会長
2月25日(木)	総合科学技術・イノベーション会議有識者会合	大西会長

(注) 部会、委員会等を除く。

第2. 各部・各委員会報告

1 部会の開催とその議題

(1) 第二部役員会 (第4回) (1月29日)

- ①名古屋議定書について ②ゲノム編集について
③平成28年度夏季部会の開催について ④その他

(2) 第一部拡大役員会 (第7回) (2月26日)

- ①人文・社会科学の振興について ②学協会との連携について ③その他

(3) 第三部拡大役員会 (第13回) (2月26日)

- ①旅費・手当の不足の対応策について ②分科会の提言等の手続の確認について
③メール審議の方法について ④夏季部会について
⑤「大型計画マスタープラン」について ⑥その他

(4) 第二部役員会 (第5回) (2月26日)

- ①ゲノム編集 ②大型研究計画 ③第二部夏季部会 ④その他

2 幹事会附置委員会の開催とその議題

(1) 外部評価対応委員会 (第2回) (2月4日)

①外部評価有識者からの評価聴取 ②その他

3 機能別委員会の開催とその議題

(1) 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会 (第12回) (2月1日)

①公募要領等について ②その他

(2) 国際委員会アジア学術会議分科会 (第9回) (2月1日)

①アジア学術会議分科会 (第8回) 議事要旨 (案) について

②第16回アジア学術会議年次会合 (スリランカ) 等について

③アジア学術会議活動の戦略委員会 (仮称: SCA Committee) について

④ICSUへの加盟について ⑤国際学術団体との連携について (AASSA、ISSC)

⑥その他

(3) 科学者委員会 (第20回) (2月5日)

①協力学術研究団体の指定の件 (8件)

(4) 国際委員会 (第18回) (2月9日)

①平成29年度共同主催国際会議候補について

②平成30年度共同主催国際会議候補の決定について

③平成28年度代表派遣実施計画案

④国際業務に参画するための特任連携会員の推薦 (H28.4-6月期会議派遣者)

⑤ICSU理事の選出方法について

⑥アジア学術会議等分科会の所掌変更について

⑦Gサイエンス学術会議2016について (報告)

⑧アジア学術会議のICSUへの加盟について (報告)

⑨日本学術会議が加入する国際学術団体の見直しに向けた調査の実施 (報告)

4 分野別委員会の開催とその議題

第一部担当

(1) 社会学委員会 フューチャー・ソシオロジー分科会 (第6回) (1月30日)

①本日のシンポジウムについて ②分科会単独のシンポジウムについて

③英文論文執筆 (英語発表) ワークショップについて ④次回会合日程について

⑤その他

(2) 心理学・教育学委員会 市民性の涵養という観点から高校の社会科教育の在り

方を考える分科会（第4回）（2月2日）

- ①提言（案）の検討 ②その他

（3）史学委員会 IUHPST分科会（第5回）（2月6日）

- ①2015年12月開催のIUHPST/DHST評議会の報告 ②2016年度の国際会議代表派遣
③今後の活動計画(2017年ブラジル大会を展望しながら)
④その他国際状況等

（4）史学委員会 科学・技術の歴史的理論的社会的検討分科会（第5回）（2月6日）

- ①第23期課題整理（継続）
②科学史（論）技術史（論）関連の大学教育の調査分析
③シンポジウム開催企画など

（5）史学委員会 歴史学とジェンダーに関する分科会（第6回）（2月10日）

- ①第23期2年目（2015.10～2016.9）の課題とそのアウトプットについて
②問題提起的、課題展開のための報告と質疑応答
（i）「スポーツにおける身体への介入としての科学—性別確認検査を中心に」
来田 享子（中京大学 スポーツ科学部 教授）
（ii）「マリー・キュリー：マイノリティはいかにして『勝利』したのか」
川島 慶子（名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授）
③今後の分科会について ④その他

（6）心理学・教育学委員会 脳と意識分科会（第4回）（2月13日）

- ①学術の大型研究計画「融合社会脳研究センター構想」について ②その他

（7）社会学委員会 社会福祉学分科会（第6回）（2月14日）

- ①提言をまとめる方向性についての検討 ②その他

（8）史学委員会 高校歴史教育に関する分科会（第5回）（2月18日）

- ①第3次提言文案の検討 ②その他

（9）言語・文学委員会 科学と日本語分科会（第5回）（2月20日）

- ①言語データ等の記録保持に関する検討について ②その他

（10）心理学・教育学委員会 市民性の涵養という観点から高校の社会科教育の在り方を考える分科会（第5回）（2月23日）

- ①提言（案）の検討 ②その他

第二部担当

(1) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 ワイルドライフサイエンス分科会 (第2回) (2月8日)

- ①ワイルドライフ保全及びマネジメントに関する研究教育・人材育成の実践についての活動内容報告
- ②今後の活動について ③その他

(2) 臨床医学委員会 老化分科会 (第2回) (2月12日)

- ①参考人 有賀 徹 氏 (昭和大学医学部教授 日本専門医機構副理事長) からの意見聴取と討論
- ②今後の活動方針 ③その他

(3) 食料科学委員会 水産学分科会 (第7回) (2月12日)

- ①「生物多様性条約・名古屋議定書」に関する農学分野の課題について
- ②Gサイエンス候補課題「海洋」報告
- ③地球温暖化時代における持続可能な水産業のあり方
- ④学術の大型研究計画について
- ⑤東京オリンピック・パラリンピック食料調達基準に向けた持続可能な水産物のあり方 (エコラベル)
- ⑥その他

(4) 臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同 生活習慣病対策分科会 (第4回) (2月15日)

- ①委員の紹介 ②提言の概要の検討と今後の進め方
- ③シンポジウム等の計画 ④その他

(5) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 発生生物学分科会 (第2回) (2月17日)

- ①国立自然史博物館構想について ②学術会議「マスタープラン2017」について
- ③その他

(6) 農学委員会 林学分科会 (第3回) (2月19日)

- ①農学分野における名古屋議定書関連検討分科会の活動について
- ②林学分野の大型研究計画に関するシンポジウムの開催計画について ③その他

(7) 歯学委員会 (第6回) (2月20日)

- ①今期発出予定の報告・提言の現状と今後の進め方
- ②今期の公開シンポジウム開催予定と今後の開催計画について
- ③今期の各分科会の活動の現状と今後の進め方について ④その他

(8) 農学委員会・食料科学委員合同 P S A分科会 (第3回) (2月22日)

- ①畑井メダル授賞候補者の決定について ②畑井メダルの今後について
- ③PSA 執行部改選について (3月15日締め切り)
- ④PSA との今後のかかわりについて ⑤PSA 終身会員推薦について
- ⑥その他

(9) 農学委員会・食料科学委員合同 I U N S分科会 (第3回) (2月22日)

- ①新規特任連携会員の紹介 ②IUNS 理事会報告
- ③ICN2021 に向けての準備状況 ④IUNS 若手育成ワークショップについて
- ⑤その他

(10) 健康・生活科学委員会 家政学分科会 (第7回) (2月23日)

- ①家政学及び家庭科教員養成について
- ②生活科学系コンソーシアムの活動について ③その他

第三部担当

(1) 数理科学委員会 数理統計学分科会 (第2回) (1月29日)

- ①平成27年11月24日開催の公開シンポジウムの報告について
- ②来年度のシンポジウム開催の可能性、活動について ③その他

(2) 総合工学委員会・機械工学委員会合同 工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会 安全目標の検討小委員会 (第7回) (2月10日)

- ①各分野報告
航空分野、労働安全
- ②報告書のとりまとめシナリオ ③その他

(3) 物理学委員会 素粒子物理学・原子核物理学分科会 (第3回) (2月12日)

- ①大型研究計画マスタープランの改定について
- ②国内大型施設の財政的基盤の問題について ③その他

(4) 総合工学委員会・機械工学委員会合同 工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会 車の自動運転検討小委員会 (第4回) (2月12日)

- ①委員長挨拶

- ②話題提供その1「警察庁、自動走行の制度的課題等に関する調査検討委員会における進捗状況（仮）」（須田委員）
- ③話題提供その2「自動運転をめぐる自己と法的責任のあり方（民事責任）」（中山委員）
- ④「提言」のまとめに向けたディスカッション

（5）地球惑星科学委員会 国際連携分科会（第2回）（2月16日）

- ①各関連分科会・小委員会の活動報告 v ②学術会議国際委員会に関する報告
- ③国際学術団体の活動状況に関する調査について
- ④地球惑星科学委員会国際関係分科会・小委員会の再編の可能性について
- ⑤その他

（6）環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 GLP 小委員会（第4回）（2月19日）

- ①GLP と Future Earth の動静
- ②日本地球惑星科学連合 2016 年大会 Future Earth 関連セッションについて
- ③大型研究計画について ④その他

（7）経営学委員会・総合工学委員会合同 サービス学分科会 サービス学の参照基準策定小委員会（第3回）（2月21日）

- ①サービス学の参照基準の策定方法討議
 - ・「サービス」および「サービス学」の定義
 - ・「サービス学」の領域と固有の特性
 - ・参照基準の骨格
- ②今後の進め方 ③その他

（8）土木工学・建築学委員会 大地震に対する大都市の防災・減災分科会（第7回）（2月23日）

- ①提案内容に関する議論 ②今後のスケジュールについて

（9）材料工学委員会 バイオマテリアル分科会（第4回）（2月26日）

- ①後援シンポジウム開催について ②提言に向けた作業の進捗について
- ③マスタープラン提案について

（10）第三部 「科学技術の光と影を生活者との対話から明らかにする」分科会（第1回）（2月26日）

- ①本分科会の位置付けについて ②役員互選 ③その他

5 課題別委員会の開催とその議題

(1) フューチャー・アースの推進に関する委員会 フューチャー・アースの国際的
展開対応分科会 (第6回) (2月25日)

- ①フューチャー・アース国際ハブ事務局長会議への分科会委員の派遣について
- ②25th KAST International Symposium 及び韓国 Future Earth National Committee

(2) 大学教育の分野別質保証委員会 (第5回) (2月26日)

- ①参照基準 (哲学分野) について ②参照基準 (情報学分野) について
- ③その他

6 若手アカデミーの開催とその議題

なし

7 サイエンスカフェの開催

日 時：1月29日 (金) 15:30～17:00

場 所：淑徳巣鴨中学・高等学校

テーマ：第1回目「ことばの世界を探る・そのおもしろさと奥深さ」

ゲスト：大津由紀雄 (日本学術会議連携会員、慶應義塾大学名誉教授、明海大学外国語学部教授・同大学副学長 (大学院担当))

コーディネーター：宮川 智香 (特定非営利活動法人 WEBREIGO 理事長)

日 時：2月5日 (金) 15:30～17:00

場 所：淑徳巣鴨中学・高等学校

テーマ：第2回目「ことばからみた心・言語知識とその獲得」

ゲスト：大津由紀雄 (日本学術会議連携会員、慶應義塾大学名誉教授、明海大学外国語学部教授・同大学副学長 (大学院担当))

コーディネーター：宮川 智香 (特定非営利活動法人 WEBREIGO 理事長)

日 時：2月19日 (金) 18:30～20:30

場 所：サロン・ド・FUZAMBO Folio

テーマ：「イノベーションと私たち」

ゲスト：橋本 正洋 (東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科教授)

コーディネーター：室伏 きみ子 (日本学術会議連携会員、お茶の水女子大学長)

8 総合科学技術・イノベーション会議報告

1. 本会議

なし

2. 専門調査会

2月22日 重要課題専門調査会 第9回環境ワーキンググループ 出席

3. 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員会合

2月4日 欠席

2月18日 欠席

2月25日 出席

9 慶弔

・ご逝去

辰野 千寿（たつの ちとし） 平成28年1月20日 享年95歳
元会員（第16-17期） 筑波大学名誉教授

10 インパクト・レポート

提言「第5期科学技術基本計画のあり方に関する提言」 インパクト・レポート

1 提言内容

大学等のあり方

- ・大学改革は我が国の将来に多大な影響を及ぼすことを十分に認識し、経済的視点に偏した拙速な改変は厳に慎み、長期的展望、百年の計を持って立案する。
- ・国際的に発展し続けるための将来像、人材育成、教養教育の必要性、地域の活性化等を考量して、我が国全体の大学等のあり方の全体像を描く。

基礎研究の重要性

- ・基礎研究のライフサイクル（種まき、萌芽と振興、飛躍的発展と収穫、継続）に応じた適切な施策と支援
 - 種まき段階での大胆な挑戦を可能とする基盤的研究環境
 - 多様な研究を育成する同僚や社会による適切な評価
 - 卓越した研究拠点形成とその継続維持

国際社会における我が国の学術のリーダーシップ

- ・地球環境観測や防災・減災に関して世界最先端の科学的知見と実践的技術の科学資産と視点を活かした、持続可能な世界へ貢献
- ・特にアジア諸国との協働を更に強化した交流の推進

2 提言の年月日

平成27年2月27日

3 社会的インパクト

(1) 政策

- ・内閣府総合科学技術・イノベーション会議有識者会議に紹介するとともに、提言配布を行った。その結果、第5期科学技術基本計画第4章「科学技術イノベーションの基盤的な力の強化」などに反映された。
- ・内閣府総合科学技術・イノベーション会議基本計画専門調査会（第8回）の配布資料において、本提言が取り上げられた。
- ・文部科学省総合政策特別委員会担当官らへの紹介を行った。その結果、「わが国の中長期を展望した科学技術イノベーション政策について～ポスト第4期科学技術基本計画に向けて～」第2法「今後の科学技術イノベーション政策の基本方針」、第3章「イノベーション創出基盤の強化」などに反映された。

(2) 学協会・研究教育機関・市民社会等の反応

- ・日本学術会議情報学シンポジウムにて本提言の紹介を行った。それに関して、会場から活発な質疑があった。
- ・一般社団法人電子情報技術産業協会技術戦略委員会から第5期科学技術基本計画について意見交換を求められ、本提言に対する強い関心が示された。

4 メディア

特になし

5 考察と自己点検

- ・本提言は、他機関からの第5期科学技術基本計画に向けた提言に比較してもっとも早いものであり、内閣府や文科省に直接紹介することで、第5期科学技術基本計画の基調構築に貢献した発出と評価できる。
- ・本提言発出が契機となり、日本学術会議に「学術振興の観点から国立大学の教育研究と国による支援のあり方を考える検討委員会」が設置された。

インパクト・レポート作成責任者

学術の観点から科学技術基本計画のあり方を考える委員会

委員長 土井 美和子